

# 第3章 環境基本計画の推進

## 第1節 基本計画進捗状況

平成22年3月に策定した環境基本計画（改定版）では、平成26年度までに本市がめざすべき環境水準を環境要素別に設定し、市民、市民団体、事業所、市（行政）が連携して各施策の推進に取り組んでいく。

### 1 自然環境

#### 【基本方針】

人と生きものの暮らしにかけがえのない森を守り育てることが重要であるにとらえ、豊かな自然と生態系を守るため、生物多様性に配慮し、自然を育む礎となる大気・水・土壌の健全なネットワークを維持するとともに、生きものとのふれあいを通して、自然との共生を目指し、豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐ。

[指標項目達成状況]

指標項目	目指すべき環境水準 (平成26年度)	平成22年度
お清水等の保全数	現在の14箇所をすべて保全	14箇所
ビオトープ数	各地区1箇所以上を確保	6箇所
生態調査箇所数	毎年1回以上行い調査箇所数を増やす	1箇所(長泉山周辺)
林野面積	市総面積の35%以上を維持	37.1%
耕地面積	市総面積の24%以上を維持	25.7%

### 2 生活環境

#### 【基本方針】

大気汚染、水質汚濁、道路交通騒音・振動等の環境監視調査や事業所への立入調査を実施することにより、公害の発生を防止するとともに、市民生活や事業活動における環境負荷を低減し、安全で健康的な生活環境を確保する。

[指標項目達成状況]

指標項目	目指すべき環境水準 (平成26年度)	平成22年度
大気汚染監視	環境基準値以下の達成、維持	86%(全21項目のうち18項目達成)
悪臭監視	規制基準値以下の達成、維持	100%
地下水水質監視	環境基準値以下の達成、維持	92%(全48地点のうち44地点達成)
河川水質監視	環境基準値以下の達成、維持	100%
道路交通騒音監視	環境基準値以下の達成、維持	86%(定点14地点のうち12地点)

道路交通振動監視	要請限度以下の達成、維持	100%
ダイオキシン類	環境基準値以下の水準を維持	100%

### 3 資源循環

#### 【基本方針】

循環型社会を構築するため、3R（リデュース〔排出抑制〕・リユース〔再利用〕・リサイクル〔再生利用〕）を徹底し、ごみ減量や資源循環が効率的に行われる環境づくりを進めます。環境に配慮する企業を支援し、環境保全と産業振興の両方を目指す。

[指標項目達成状況]

指標項目	目指すべき環境水準 (平成26年度)	平成22年度
ごみの1人1日当たりの排出量	900g以下	1,000g
燃えるごみに占める生ごみの割合	35%以下	38.9% (平成19年度調査)
ごみの資源化率	25%以上	18.1%
燃えるごみに占める紙類の割合	15%以下	38.9% (平成19年度調査)

### 4 地球環境

#### 【基本方針】

市民・市民団体・事業者・市（行政）が温室効果ガス削減に向けたまちづくりに取り組むことで、地球温暖化防止を中心とした地球環境の保全に寄与する。

[指標項目達成状況]

指標項目	目指すべき環境水準 (平成26年度)	平成22年度
カーセーブデー実施事業所数	市内50事業所以上	18事業所 (平成21年度実績)
福井鉄道福武線鯖江市内駅利用者数	52万人以上	45万人
つつじバス利用者数	20万人以上	18万人
酸性雨に関する調査	調査を継続し動向を把握	6回
広葉樹の植樹	市民参加による毎年1回以上の植樹を行い、森林等へ新たに3,500本の広葉樹を根付け	1,000本

## 5 市民協働

### 【基本方針】

市民・市民団体・事業者・市（行政）が連携・協働し、環境について考え、行動することで、環境負荷の少ないまちづくりに取り組む。

[指標項目達成状況]

指標項目	目指すべき環境水準 (平成26年度)	平成22年度
全市的な環境イベントの開催	年1回以上	1回
河川一斉清掃参加者数	8,000人以上の参加	9,000人

## 6 環境学習

### 【基本方針】

環境市民の育成のために、鯖江市環境教育支援センター（エコネットさばえ）を拠点として、市民の環境保全意識の高揚や自発的な実践行動の推進、多種多様な環境講座等を積極的に実施する。

[指標項目達成状況]

指標項目	目指すべき環境水準 (平成26年度)	平成22年度
こどもエコクラブ数	50クラブ以上	30クラブ
環境リーダー認定数	200名以上の登録	253名
鯖江市環境教育支援センター（エコネットさばえ）来館者数	12,000人以上	13,168人
環境講座等参加者数	8,000人以上	7,626人